

会 議 録

会 議 の 名 称	第6回 第2次宍粟市男女共同参画プラン策定委員会	
開 催 日 時	令和元年9月10日（火）13：30～15：30	
開 催 場 所	宍粟市役所 本庁舎 4階 401 会議室	
会 長 氏 名	中村 会長	
委 員 氏 名	（出席者） 中村会長、三渡副会長、稲垣委員、梶浦委員、 小西委員、高井委員、野谷委員	（欠席者） 石原委員、久保委員、 中村委員
事 務 局 氏 名	大田次長、西田課長、上月係長 （まちづくり推進部人権推進課）	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） 1. 開会 2. あいさつ 3. 説明事項 （1）第2次宍粟市男女共同参画プラン素案について 4. その他 ・今後のスケジュールについて<別紙> 5. 閉会	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料等	別紙のとおり	
議事録の確認 （記名押印）	（委員長等） _____ ㊟	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	1. 開 会 2. あいさつ
事務局	<p>一昨夜は台風 15 号が 3 年ぶりに関東地方に上陸して猛威をふるい被害にあわれた方もいらしたようです。しばらくは台風一過で猛暑が続くようですので、皆様ご自愛くださいませ。</p> <p>さて、この策定委員会につきまして、プランの中身を見ていただく作業は今回で最後になるかと思しますので、活発なご議論をよろしく願いいたします。</p> <p>先日、私事ではありますが「おっさんずラブ」という映画を観てまいりました。男性同士の恋愛コメディ映画ですが、好きになるのが異性というスタンダードな固定観念が当事者にはないのはもちろん、周りの人にもありません。好きになる人の性別にこだわらない社会を描いた映画で、このような未来が目前にあるのだなと思いました。そうすると、この計画での「男女」という表記に不安感を覚えます。前回に委員さんから、理念においては男性、女性だけでなく、一人ひとりの性の在り方が尊重され自分らしく生きられる社会の実現をうたっておきながら、ほかのところは「男女」になっているので違和感を覚えると言われました。そのご意見に共感いたしますが、本計画がその視点に立つまで、まだまだ女性の人権を高めていく必要があると思っています。この計画の名称に違和感を覚える人が増えていけばよいのではないかと感じた次第です。</p> <p>8月の終わりに埼玉県で開催された「男女共同参画推進フォーラム」にいち市民として参加してきました。ここ数年参加しているのですが、男女共同参画を推進している市民グループ等多数の方々から全国各地から参加されています。国や世界の動向から地域の活動まで大変勉強になる研修で、本日そのときの資料も一部お配りしております。政治分野における男女共同参画推進法の施行に向けてご尽力されているクォータ制を推進する会（Qの会）と東京・強姦救援センターのニュースなのですが、すごく興味深い内容が書いてありますので一度ゆっくりご覧いただければと存じます。Qの会のニュースでは政治分野における男女共同参画推進法施行後の統一地方選挙の結果が掲載されています。立候補者数、当選者数とも少しは増えましたが、まだまだ3割には届かない状況がございます。また、性暴力の刑法が2017年に110年ぶりに改正されたとはいえ、女性たちの要求とはほど遠い結果であったようです。男女平等及び女性の人権についての認識が先進国とはいえない、とても人権意識が低い国であるということの表れになっています。司法の場、政治の場にもっと女性が入っていくことが必要だと感じました。それから、ひょうご男女共同参画ニュースもお配りしております、さまざまな</p>

	<p>視点からアプローチした事業が展開されていますので、ご参考にさせていただければと思います。</p> <p>それでは、会長をはじめ委員の皆様、本日もどうぞよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>続きまして、開会のごあいさつを会長より頂戴しまして、引き続き、議事を会長の進行により進めていただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>皆様、こんにちは。いつまでも暑いですね。日本の秋という季節がなくなってしまうのではないかと考えています。</p> <p>今、事務局からクォータ制のことをお話しいただきましたが、本当に日本は世界からすごく遅れていて、その遅れている意識というのは一人ひとりの気持ちの中にあると私は思っています。意識を変えるのはなかなか大変なので、ある一定の割合で女性を入れていくクォータというシステムをつくる動きが出てきました。よく4分の1のクォーターと勘違いされるのですが、「クォータ」です。ある割合で女性を確実に入れていくということで、フランスのパリでは男女ペアでないと立候補できません。だから、半分以上にはならないけれど半分にはなるというシステムを取っているところも世界にはあります。</p> <p>意識というところで思うのですが、朝ドラの「なつぞら」を皆さん観ていらっしゃいますか。「なつ」という女の子がアニメーターになって結婚して子どもも産むのですが、昭和40年代の話ですから結婚する、子どもを産むという時点で、ほぼ9割の女性が仕事を辞めていた時代です。確かあの時代の専業主婦率は8割を超えていたと思います。今は逆転していて7割が共働き家庭です。ヤフーのニュースで「なつぞら」のことがすごく出てきます。その下に視聴者がコメントを書ける欄があって、それを読むとびっくりします。「なつはわがまま」「子どもを優先するべき」「あの旦那さんだからできるだけ絵空事」など、今の時代でも結婚して子どもを育てながら働き続ける女性への攻撃的なコメントが続きます。それに対して「なぜ女性が自分の夢を追いかけてはだめなのか」「夢を追いかけながら結婚や出産を望むのがわがままなのか」と反論すると、炎上一步手前くらいまで文句を言われたりします。ここを乗り越えないと、女性はただ単に家庭内での存在にすぎず、社会の資源になっていきません。この宍粟市のプランでは女性も男性も活躍できる世の中にしていきたいと思いますというところをめざしているはずですが、最近はそのがなかなか難しいことだと痛感しております。</p> <p>学校の名簿が今50音順になっていて、若い先生方にとってはそれが当たり前なので、それ以外の名簿もあるのですかと聞かれたりもします。ただ、やはり男女別の名簿のほうが使いやすくと誰かが言ったときに、そちらの方向に流れてしまう危うさも最近感じているので、20年前に男女共同参画基本法が出来たときの原点に戻らなければならないと仲間内では言っています。この世の中を一步前</p>

事務局	<p>進させるつもりでプランをつくっていきたいと思っていますので、よろしく願 いいたします。</p> <p>3. 説明事項</p> <p>(1) 第2次宍粟市男女共同参画プラン素案について ～事務局より、第2次宍粟市男女共同参画プラン（素案）の修正点・追加項 目について説明～</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>大変多岐にわたっておりましたが、まとめると、重点方針が三つあって、その 説明を書き加えるということですよ。男性にとっての男女共同参画についても きちんと強調したいのと、女性の参画拡大という言葉が並んでいることに対して 前回ご意見をいただいていたので、そこをどうするかですが、やはり現状や 10 年後を考えても、まずは女性の参画が大事なので、平等を担保するためにこのま ま残しておきたいといった説明でした。仕事と家庭の両立も大事にしたいという ことです。</p> <p>今回は5年の中間目標値を設定したということが大きな目玉になっていると 思います。進捗管理がスムーズにできるのではないのでしょうか。</p> <p>細かいところでご意見を頂きたいとおっしゃっていたのは、54 ページの女性 起業家支援による創業件数が今7件で、それを現状維持というのが数値目標とし てふさわしいかどうかですよ。62 ページの外国人との交流イベント参加者数 が今 819 人で、それを現状維持するという数値目標についてもいかがでしょ うか。</p> <p>内容を固めるのは今日が最後ですので、皆さんからいろいろなご意見を頂きた いと思います。</p>
会長	<p>54 ページ、家族経営協定の締結件数が今は0なのですか。この協定が出来た のは、ずいぶん昔ですよ。平成14年か15年に旧社町のプラン策定をしたとき、 農家が多いので家族経営協定を入れたと思います。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおり少し前の取組みということで、県の農業改良普及センターも 積極的な推進体制ではないようですが、補助金制度もあるようですので、普及セ ンターも一緒に推進させてもらえれば有り難いと伺っています。</p>
会長	<p>今、農家さんはいろいろな意味で大変ですから、もっとPRしたほうがよいの ではありませんか。</p>

事務局	<p>いろいろな制度があるようですので、農業振興課と一緒にPRできればと思っています。</p>
会長	<p>数値目標に現状維持という言葉が入るのがよいかどうか、皆さんご意見ありませんか。</p> <p>女性起業家による創業件数を増やしていくのが難しいため、今の状態を維持する意味で減らさないようにしますよと言いたいのですが、それを数値目標といるのかどうかです。皆さん、どうですか。</p>
委員	<p>今、古民家カフェがブームになっていますよね。二人ほどから起業の相談を受けて基本的な届出関係からオープンに至るまでお手伝いをさせてもらい、軌道に乗った方もいらっしゃるのですが、いろいろな制約があつてそれを説明するとトーンダウンされてしまう方もおられます。女性起業家による創業件数の現状が7件ですので、目標値は現状維持というよりも支援維持のほうがよいのではないのでしょうか。相談に来られたら受けて、オープンまでこぎつけられるような支援の仕方のほうがよいような気がします。</p>
会長	<p>古民家カフェのカタログを見ていると、丹波市、篠山市、実は宍粟市にも結構良いお店があります。ところが、残念なことに成功しているのは大阪からの移住者です。</p> <p>起業するまでのハードルがすごく高いので、ノウハウを持っていない人は大変です。だから、今おっしゃったようなことが数字になればよいかもしれませんね。実際起業した人の数ではなく、企業支援をどれだけ仕掛けられたかというようなことです。</p>
委員	<p>この女性起業家支援による創業件数というのは、元々の宍粟市住民による創業件数のことですか。それとも、移住してきた人の創業件数でしょうか。</p>
事務局	<p>恐らく両方に補助した件数だと思います。</p>
委員	<p>都会の人が宍粟市に住民票を移して起業するケースもあるかもしれませんが、元々の宍粟市民が起業する際の支援というのはこの件数の中にありますか。</p>
事務局	<p>担当課に確認すればわかると思います。</p>
委員	<p>宍粟市に古民家カフェがあるのですが、経営者の方は元々宍粟市民で、他市で飲食関係の仕事をされていて調理師免許を取ってから戻ってこられました。そう</p>

事務局	<p>いう方はうまくいくのですが、マイナスからスタートというのは厳しいものがあると思います。</p> <p>宍粟市では創業セミナーを6回受ければ助成金を受けられますよね。</p> <p>その件数を54ページの数値目標に記載しております。</p>
会長	<p>女性の起業と聞いてどんなイメージが湧くかと聞くと、その人が作った小物やアクセサリーを売る場所を市が用意するような感じだと言われたことがあります。でも、それでは幾らにもならず、やはり起業というのはパートに出るよりも収入が見込めるものでなくてはなりません。</p> <p>何を起業とするかは難しいので、今おっしゃったような起業するためのセミナーに参加された方の人数を数値目標にするという方法もあります。</p> <p>現状維持が目標値というのは何となくおかしいように思います。</p>
事務局	<p>平成29年度は1件か2件でした。30年度は7件でかなり増えたので、この7件をキープできればよいという思いもあります。</p>
会長	<p>商工会では結構そういう相談はあるのですか。</p>
委員	<p>ありますね。宍粟市の古民家を活用して小さなカフェを開きたいという方が多いです。憧れなのでしょうね。</p>
会長	<p>話は変わりますが、コミュニティがコンビニを経営するというのがあります。皆でお金を出し合って経営し、店番も当番制というのがあったのですが、今は人口減と超高齢化で完全に廃れています。</p> <p>さて、目標値はどうしましょう。現状維持でよろしいですか。</p>
計画策定 支援者	<p>総合計画では「現状値より増加」という書き方をしているところもございますので、このような指標の設定方法もあるかと思えます。</p>
副会長	<p>この件に関してだけではありませんが、宍粟市の目標が他市と比べてどの程度なのかもわかればと思います。他市町でも目標値に現状維持と掲げているのでしょうか。</p>
会長	<p>ここは最も難しいところで、仕事については行政の力が及ばないことが多いです。例えば、意識の改革や教育の推進については行政が担わなければならないと思うのですが、起業に対して数値目標を設定しても行政がコントロールできない</p>

	<p>部分があります。女性起業家の増加が男女共同参画を推進することなのかという疑問を持ったりもしています。都市部のプランでは起業家の人数が出ていますね。これが郡部にも当てはまるのかと、それよりも家族経営協定のほうが大事な気がします。</p> <p>商工会では起業の相談を受けていらして実感がおありだと思うのですが、起業を考えている女性というのは、ある程度年齢を重ねて子育ても済み経済的な余裕もあって、特に働く必要はないけれども何らかの形で社会とつながりたい、そんな方だと認識してよろしいですか。</p>
委員	<p>会長がおっしゃるとおりの方が多いのですが、一番のポイントは開業資金です。資金を自分で用意できる方はよいのですが、資金がないので借入の相談からという場合は厳しいものがあります。</p>
会長	<p>たぶん専業主婦で自分の通帳もお持ちでないでしょうし、そういう人に銀行は融資しませんからね。</p>
委員	<p>趣味の一環で起業しようと思っている方もいますが、やはり資金がないと難しいですね。</p>
副会長	<p>宍粟市というのは、女性が起業して成功できるような所ではないと思います。</p>
会長	<p>子育てが一段落した女性が、ただ家庭にいただけではなく社会とつながりを持ちたくなるのも一種の男女共同参画です。そういう人たちに対する支援の講座やマルシェのような場があれば、女性たちがそこでいろいろと学びながら自信をつけて社会で活躍していく土台になるのでよいと思います。</p> <p>小野市に「エクラ」という男女共同参画のセンターがあって、そこでマルシェのようなものをしており、それが常態化しています。いろいろな人がそこを借りられるのですが、どれぐらいもうかっているかと若い子に聞いたところ、材料代をやや上回る程度と教えてくれました。だから、それで生活はできないけれど、自分の作った物を売ること社会とつながりができます。また、子どもにその姿を見せたいとおっしゃっていた50代の人もありました。</p> <p>田舎での起業は難しいと思います。資格も原資もノウハウも持っている男性が宍粟市にお店を出しても人口を考えると成功率が低いのに、何も無い状態の女性が貸付を受けてお店を開くのは困難度がすごく高くなります。</p> <p>今度キャリアコンサルタントさんが来られて「女性のためのなんでもチャレンジ相談」というのをされるのですよね。そういう講座の回数や参加者数を目標値にするほうが現実味はあると思います。</p>

事務局	その相談に来られる方が少ない状況ではあります。
会長	そこが小野市とは違いますね。小野市の場合、こういう相談事業を行うと多くの人が来ます。若い人が子育てしながら次のチャレンジを探すということで、一時保育もすぐいっぱいになります。それと、小野市にはハローワークがないので、毎月1～2回西脇のハローワークから職員の方が来られて情報をもらったり相談することができるのですが、それも盛況です。
委員	このチラシにも書いてありますが、なんでもチャレンジ相談というのは本当にふわっとした相談で、あっという間に終わってしまいます。 この事業が始まった当初相談に行ったことがあるのですが、何かにつながるとい感じはありませんでした。
会長	心がきちんと固まっている人が相談に行くのであればよいのかもしれないね。
事務局	人によって感じ方は多様ですので、ふわっとした相談でも満足したり、何かのきっかけになる方もいらっしゃると思います。このなんでもチャレンジ相談がひとつのステップになればと思っています。
会長	この事業をするにあたって、県の目標数値というのがあります。まずは何人来たかが大事で、次はその人たちのうち何人がハローワークへ行ったかまで調査をしていました。
委員	神戸の場合、男女共同参画センターの隣にハローワークがありますから、相談ついでに行ってみようとなりますけれどね。
会長	この近くにハローワークはありますか。
副会長	ないですね。たつの市まで行くしかありません。
委員	総合的な仕事の相談窓口である「わくわ〜くステーション」は、この本庁舎の1階にあります。
会長	ここについてはいろいろな意見が出たので、また検討してもらえますか。

事務局	はい。ほかの市町も参考にしながら検討したいと思います。
会長	<p>ほかのところは相談人数やセミナーの回数を入れていると思います。</p> <p>男女共同参画センターがあれば、いろいろなアイデアが湧いてきます。例えば若い子を集めてアクセサリ講座を開くと、たくさん作れたので売ろうという話になります。売るのであればニーズを調べたり、原材料を最安値で買える所を探したりと、具体的な行動に結びついていきます。</p>
委員	そのように集まれる場所をつくることを目標にしてはどうですか。
会長	センターの設置努力というのがありますし、拠点はすごく大事です。男女共同参画センターがあれば、ハローワークと連携して女性対象のコーナーをつくれたいと思います。
事務局	<p>農林業の6次産業化の担い手ということで女性起業家支援事業もありますので、これらの利用があればカウントしやすくなると思っています。カウントしやすければ進捗管理もスムーズに行えるため、その中で7件という高い数字が出てきたかと思います。</p> <p>起業という定義はいろいろありまして、プチ起業のような形をイメージしているところもあったのですが、今頂いたご意見を参考に、再検討させていただきます。</p>
会長	<p>進捗が見えやすいのも大事なことです。ということで、54 ページはこれでよろしいですか。</p> <p>62 ページの外国人との交流イベントについてはいかがでしょうか。</p> <p>国際交流協会というのが各市にあって、そこでの取り組みが中心となるのですが、そこではやはりパーティになってしまいます。パーティに行ける人というのは、ある程度充実、安定した生活をされている人で、もちろんそれが悪いわけではなく、そこでのつながりづくりが大事なのですが、私の気持ちの中で男女共同参画と外国人の方となったときに、ふと頭をよぎるのはDVと地域住民とのもめ事、ごみの分別ができていない、収集日を守らない、夜中まで騒ぐなどです。「多様な人々が安心して生活できる環境の整備」という表題なので、そこはもう少し考えていただければと思います。皆さんはいかがでしょう。</p>
委員	819人というのは、国際交流協会が主催する「お茶ットルーム」の参加者数ですよ。会長がおっしゃったように、それと男女共同参画との関係はどうなのかと思います。宍粟市在住の外国人の方が生活するうえで困っていることの相談支

事務局	<p>援などであれば男女共同参画に入るかと思うのですが、交流ですし、「お茶ットルーム」に来る人というのはいつも同じ顔ぶれで、スタッフとして参加した経験がありますが、全く関係ない人は来ません。だから、外国人との交流イベント参加者数を男女共同参画の数値目標として掲げるのはどうかという気もします。</p> <p>そもそも多文化共生という環境整備がまだまだできていないので、この数値を持ってきたのですが、今おっしゃったように、やはり環境整備の視点を入れるよう、再度検討させていただこうと思います。</p>
会長	<p>宍粟市で出しているごみのガイドブックやDVに関するパンフレットが何か国語で作られているかもすごく大事です。宍粟市にDVの相談センターがないのであれば、ここで補填しておくほうがよいかもしれません。外国人支援のためのお金は絶対に必要です。例えば、ポルトガル語しか話せないママがDV被害にあったとします。そのときに通常の通訳を配置しても支援にはなりません。そこでDVについての知識や理解がある通訳をとると、特定のNPOに頼む必要が出てきて、そうするとお金が余分にかかります。DVを受けているママは絶対にお金を持っていないから、そこは行政が支援して費用を出す必要があります。ただ、人口5万人の小野市でも、そこに頼む回数はそれほど多くなく、昔は1回5千円程度でした。</p>
委員	<p>コンビニで外国人労働者の方と出会うことが多いのですが、そのときにあいさつレベルでも構わないので、外国の方の母語で声をかけられるようになる講座が会社単位や学校単位であればと思います。それが、多様な人々が安心して生活できる環境整備の第一歩になるのではないのでしょうか。</p>
会長	<p>外国人労働者に関しての法律が変わったので、圧倒的に増えると思います。</p>
委員	<p>国際交流の楽しいイベントばかりではなく、多言語教育の辺りにも力を入れてほしいと思います。</p>
副会長	<p>外国人の話ではないのですが、防災訓練の女性参加者数が少なく、今年の担当は山崎町だったので、せめて山崎町の人だけでも参加してほしいと思いました。団体の縦割りの訓練というだけで、横のつながりが見えません。防災のところにも男女共同参画の視点が必要だと思うのですが、担当課が消防防災課で、その人たちが男女共同参画について理解しているのか疑問です。担当課だけに任せるのではなく、できれば男女共同参画のことをよくわかっている人権推進課も加わる形で施策を進めていくほうがよいのではないかと思います。</p>

会長	<p>消防署自体に女性はいますか。いませんよね。</p> <p>小野市には何度も言って、やっと女性署員が2～3人配置されるようになりました。</p>
委員	<p>防災訓練は一般市民には関係ありません。あれは宍粟市が地域の団体とどう連携をしていくかという訓練で、我々はそれを見ていればよいだけです。</p>
事務局	<p>この間の山崎スポーツセンターでの防災訓練は、そういうイメージだったかと思います。</p>
副会長	<p>縦割りばかりで、横のつながりが全然見えません。</p>
委員	<p>一般市民の防災訓練もありますが、付属にすぎません。防災訓練と男女共同参画というのは別世界の話だろうと思います。</p>
副会長	<p>でも、実際何か起きたときには横の連携が必要ですよね。</p>
委員	<p>そうですね。実際起こったとき、最も頼りになるのは地域の人です。消防署員や警察官100人よりも土地勘のある地域住民10人のほうがよほど力になると思います。</p>
会長	<p>長期化、大規模化した場合、消防署員さんや自衛隊員さんが頼りですが、初動はやはり地域ですよね。</p>
副会長	<p>このプランの中で防災について書いてある内容を担当課だけで実施することは無理なのではないかと、つくづく思いました。</p>
会長	<p>そこは担当課さんに頑張ってください、進捗状況を厳しくチェックしていきましょうか。</p> <p>最近は防災のときに女性を入れていくよう国もかなり言っているので、兵庫県もその指示を出していると思います。</p> <p>それでは、62ページの外国人との交流イベント参加者数というところも、また考えてください。</p> <p>私がいつも言っているのは最後の推進体制のところです。65ページにある男女共同参画に関する職員研修の実施回数の数値目標が2回というのは有り難いし、男女共同参画をめざして活動する団体数を増やしていくことも、センターが</p>

	<p>出来れば可能だろうと思います。</p> <p>67 ページの「⑦全市的推進体制づくり」のところに「宍粟市男女共同参画推進市民会議」を設置するとありますが、要するにチェック機能という意味ですよね。それ以前の体制、庁内の男女共同参画推進会議のようなものは設置できませんか。</p>
事務局	<p>65 ページの No. 98 に庁内推進体制の充実ということで載せているのですが、「宍粟市男女共同参画推進会議」を設置いたします。なお、これは庁内部長級の会議となります。</p>
事務局	<p>次長級、課長級の会議もあります。</p>
会長	<p>もっと細かいところでチェックしなければならないので、課長級がよいのではないかと思います。さらには、係長級を集めれば、すごく物事が動くという実感を持ったことがあります。細かくチェックしようと思えば、課長級ないし係長級ですよ。</p>
委員	<p>数値目標についてですが、やはり現状維持という言葉も項目もおかしいと思います。別の項目を考えたほうがよいのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>現状維持という言葉自体が一人歩きしそうで、例えば少しでも増加とか、より適切な言葉にしたほうがよいと思います。</p> <p>外国人との交流イベントだけでは内容がよくわからないので、各イベントのタイトルも明記するほうがよいのではないのでしょうか。</p> <p>「お茶ットルーム」に参加したことはないのですが、技能実習生を含めた外国人の悩み相談を中心とした内容だと聞いていたので、さきほどのお話とは少しイメージが違います。</p>
委員	<p>悩み相談というよりも、新しく来た人が自分の出身国を紹介するような感じで、子どもさんも参加する楽しいイベントです。</p>
委員	<p>主催者側はいろいろな話を聞いてサポートしようと思っていらっしゃるようです。</p>
委員	<p>お友達を呼び合いましょうということだと思います。夢公園や国見の森公園でピクニックとか、千種に出かけたりされています。</p>

委員	<p>そういう交流イベントの開催について広報やチラシ等で市民全員にお知らせしてはいかがかと思えます。</p>
会長	<p>4月に外国人労働者の法律が変わったときどうなるのかと国際交流協会の人と話していたのですが、不法就労が増えるのか減るのかわかりません。また、地域包括の人とは、日本在住の外国人の方が高齢になって介護が必要になった場合、生活保護を受給できるのか、地域包括の対象となるのかという話をしました。このプラン策定後10年の間に、また違う課題が出てきそうです。</p> <p>内容について話し合えるのは今日が最後となります。皆さん、ほかにいかがですか。</p>
委員	<p>43ページの男女共同参画に関する講演会等の数値目標ですが、実施回数よりも参加人数のほうがよいと思えます。対象者は一般市民でしょうか。それとも教育関係者ですか。</p>
事務局	<p>基本的には一般市民の方が対象となります。</p>
会長	<p>一般市民に対する社会教育という考え方でよろしいですかね。</p>
事務局	<p>今年は子育て支援センターと合同で絵本読み聞かせライブを開催しまして、若い方が多く来られました。</p> <p>数値目標の件ですが、回数を把握できれば参加人数もわかります。</p>
委員	<p>実施回数を増やすのは簡単です。参加人数が少なくても、回数をこなせば達成したことになりますから。だから、実際の参加人数を目標にするほうがよいと思えます。ただ、男女共同参画というだけで敬遠して、参加者はいつも少ないですね。</p>
会長	<p>市単独ではなく、子育て分野、高齢者分野、地域福祉分野等の団体と連携して行い、市民が興味のあることをテーマにすれば人は集まると思えます。あるいは会社でセクハラ、パワハラの話をするれば、それが男女共同参画を理解してもらうのに効果があったりします。そういうことを行いながら人数を増やしていく必要があると思えます。</p>
事務局	<p>それでは、数値目標を実施回数ではなく参加人数としましょうか。</p>
委員	<p>私は反対のことを思いました。例えば、文化会館で1回開催して1,000人入り、</p>

	<p>それで数値目標が達成してしまうことも考えられます。そうではなく、1回の参加者数が30人でもよいので何度も開催し、男女共同参画について理解していただける機会を増やすことが大事かと思います。</p>
事務局	<p>本当は講演を聞いたことにより男女共同参画について理解できたという方の数値を成果指標にあげていくべきだと思うのですが、今は取り組みの回数しかあげていないので、数値目標としてはふさわしくないかもしれません。ただ、理解できた方の数値を把握するのも難しいため、このようにしております。</p>
委員	<p>山崎町ばかりで実施するのではなく、各町で実施すればもっと高い数値目標を設定できると思います。</p>
副会長	<p>65ページの男女共同参画をめざして活動する団体というのは、どういう団体ですか。</p>
事務局	<p>「宍粟女子キラキラパワーアップ応援事業補助金」という補助事業がありますが、その補助を申請された団体数を挙げています。平成30年度には11団体に補助しました。上限は30万円で、それを3年間継続する形となっています。</p>
委員	<p>男女共同参画をめざして活動するといっても、女性の団体ばかりですよ。女性だけを支援しているような感じがします。</p>
事務局	<p>女性が責任のあるリーダーとなって活動している団体というのが補助の趣旨となっています。</p>
会長	<p>補助の財源は市単独ですか。</p>
事務局	<p>はい。一般財源でございます。</p>
会長	<p>補助を受けている団体は講座の受講を必須にしてはどうですか。男女共同参画について、きちんと勉強してもらいたいと思います。</p>
会長	<p>そのネットワークが宍粟市の女性リーダーの中核になっていけば、講座を手伝ってもらったり、あるいはその企画で主催してもらえるかもしれませんね。</p>
委員	<p>ずいぶん補助しているのですか。</p>

事務局	昨年11団体に260万円の補助をしました。
委員	男性がいる団体には補助してもらえないのですか。
事務局	男性が主体の団体には、「元気げんき大作戦補助事業」などいろいろな補助事業があります。
委員	「元気げんき大作戦」は男女平等です。「キラキラパワーアップ」は女性だけなので、男女共同参画にはならないのではないのでしょうか。
会長	ポジティブアクションということで、そこで女性が力をつけ、今度はその財源を「元気げんき大作戦」に回して、男女が一緒に取り組めばよいと思います。 ご発言は、よろしいですか。 それでは、進行を事務局さんにお返しいたします。
事務局	4. その他 ・今後のスケジュールについて<別紙> ～事務局より別紙資料に基づき説明～ 次回の策定委員会は来年1月中旬～下旬を予定
会長	市長への提言というのは3月議会終了後ですか。
事務局	このスケジュール案の⑦か⑧、来年1月中旬～下旬、あるいは2月中旬になると思います。
会長	ということですので、皆さんよろしく願いいたします。
事務局	5. 閉 会
副会長	前回より納得いくものが出来たと思っておりますが、今後ともよろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

*発言者の表記は、「会長」、「委員」、「事務局」とする。